

留学先大学： Leiden University  
 留学先での所属学部・研究科： Humanities  
 留学先での在籍身分： exchange  
 留学期間： 2013 年 9 月～ 2014 年 7 月  
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部 国際文化学科  
 学年（出発時）： 学部3回  
 本報告書記入日： 2013 年 11 月 27 日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

ライデン大学に留学していた人のブログや日本学生機構のHP

## 住居について

- ・住居のタイプ：  大学寮  アパート  ホストファミリー  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- 住居（寮，アパート）の名前： Herengracht
- ・部屋の種類：  一人部屋  二人部屋  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・ルームメイト：  現地学生  留学生（出身国： 比較的ヨーロッパ）  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：  大学の斡旋  自分で探した  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段： 25分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

車はほとんど通らないので静か。寮の前に流れる運河がとてもきれい。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

ほぼ毎日毎食自炊。オランダの外食は非常に高い（10ユーロほど）。またライデン大学内の食堂は味も質も値段も良くなく、レパートリーも少ない。スーパーで買えば食材は安い。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

入居後五日間ほど部屋の電気が使えなかった。また予告なしに洗濯代金を別途要求するようになるなど、住居斡旋会社の対応はあまりよくない。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：  出発前  到着後
- ・履修登録の方法：  On-line  International Office等の仲介  その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：  無し  有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

なし

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：  はい  いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

渡航前に事前登録した授業の時間割が被ってしまっていた。またそもそもとれるレベルかつ英語の授業の選択肢はそれほど多くはない。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Introduction to Dutch Studies		2 h	5 ECTS	50人ぐ らい	オムニバスの授業。
2	Art History of the Netherlands		2 h	10 ECTS	50人ぐ らい	リーディングの量は多め。
3	Dutch 1A		2 h	なし	10人ぐ らい	外国人のためのオランダ語の初級コース
4	Comparative Analysis of Political Systems		6 h	10 ECTS	100人 ぐらい	週二回の講義と週一回のワークショップ
5	Anti-Christianity in pre modern Japan		2 h	5 ECTS	30人ぐ らい	人数の多いセミナーのクラス。授業外でのグループワークに多くの時間がかかる。
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

ライデン大学での授業は基本的に2hで1セット。そのうち最初の15分は教室移動や準備に使う先生も多い。また多くの授業で45分が経ったところに10分程度のコーヒー休憩をとることになるので、講義の場合実質1時間半の授業である。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日		
8:00	基本的に授業外の時間は図書館で学習するか友達と話す。	授業	授業	授業	授業				
9:00									
10:00									
11:00									
12:00									
13:00									
14:00									
15:00									
16:00									
17:00									
18:00								授業	サッカー
19:00									
20:00									
21:00									
22:00									

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

ライデン大学のあるライデンという町はオランダの中心地であるホラント州にあり、首都であるアムステルダムから電車で30分ほど、ほかにもロッテルダムからは40分ほど、デンハーグからは20分ほどという位置関係にあります。しかしこれらの都市に比べるとライデンはかなり落ち着いた雰囲気があり、小さな町です。私がライデンに到着したのは八月の中旬で、同時期の日本と比べるとはるかに過ごしやすい気温でした。ただ日は22時ぐらいでもまだ明るいほど長く、時差もサマータイムで7時間あったので、到着後数日は昼過ぎまで寝てしまうなどこちらの時間に体を合わせるのがなかなか大変でした。

言語面については、オランダ人は英語が母国語でない人たちの中で世界で一番英語が話せる人たちといわれています。しかしスキポール空港以外では表記は基本的にすべてオランダ語です。買い物をする際など、オランダ語の表記が分からず困ることも最初のうちは何回かありました。しかしそういう場合でも周りのオランダ人の方に英語で尋ねればほとんどのケースで優しく教えてくれます。

私はオランダに来る前から少しずつオランダ語の学習を始めました。私は外国語に広く興味があるため、ライデンについてからもオランダ語を学んでいます。オランダ語を学ぶ予定のない方でも一年間オランダで生活されるのであれば日常生活で目にする語彙など（特に買い物で必要になる語彙）は早めに暗記してしまったほうがいいと思います。

食事に関してはオランダで外食をしようと思うとかなり高くつきます。その上レパートリーも少なく、味も日本人の嗜好にはあまり合わないように感じます。自炊をかなり徹底すれば日本と変わらない、もしくは日本よりも少ない食費でやりくりできると思います。

キャンパスライフについては、ライデン大学には日本学科があり、それを専攻している学生さんたちが月に一度ほどなにかイベントを開いてくれます。また世界各国から来ている留学生も多いので、積極的に交流を図っていければ交友の輪はかなり広がると思います。

授業は専攻やとる授業によって大きく異なるようなので一概には言えませんが、私のとっているHumanitiesからの授業の多くは1.5hの授業時間で、日本とよく似ていると思います。

オランダの寒さは神戸よりはかなり厳しいものですが、北海道や東北地方などと比べるとまだまだしなレベルかもしれません。